

第2回北九州市 成長戦略会議

令和7年11月5日
北九州市産業経済局



12項目の検証指標群 (ダッシュボード)

検証指標	基準 (戦略策定時)	現状 (最新値)	目標(注)
方策①産業基盤のポテンシャル開花			
I 企業誘致件数	290件 (R1~5)	93件 (R6)	330件 (R6~10)
II 新規雇用創出数 (誘致)	4,200人 (R1~5)	1,606人 (R6)	5,100人 (R6~10)
方策②学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進			
III 先端企業の集積・GX関連の新ビジネス創出企業数	—	先端企業集積 13社 (R5~6) 新ビジネス創出 3社 (R5~6)	先端企業集積 20社 (R5~12) 新ビジネス創出 30社 (R5~12)
IV 再生可能エネルギー導入量	436MW (R2)	459MW (R6)	1,400MW (R12)
方策③生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等			
V 労働生産性 (全産業・うち第三次産業)	全産業 8,180千円/人 (R2) うち第三次産業 7,363千円/人 (R2)	全産業 8,856千円/人 (R3) うち第三次産業 7,475千円/人 (R3)	全産業 9,000千円/人 (R15) ※ うち第三次産業 8,000千円/人 (R15) ※
VI 雇用者一人当たりの雇用者報酬	4,631千円/人 (R2)	4,684千円/人 (R3)	5,000千円/人 (R15) ※
VII スタートアップイグジット件数	—	0件 (R6)	3件 (R6~10)
方策④DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備			
VIII 新卒学生の地元就職率	35.7% (R4)	35.9% (R6)	40.0% (R10) ※
IX 就業率 (女性・シニア・外国人)	女性 79.8% (R4) シニア 23.4% (R2) 外国人 72.1% (R2)	国の公表にあわせて更新	女性 82.0% (R10) ※ シニア 30.0% (R 7) ※ 外国人 80.0% (R 7) ※
方策⑤アテンションを集めるブランディング			
X 観光消費額・宿泊客数	827億円・173万人 (R4)	980億円・189万人 (R6)	1,800億円・260万人 (R10) ※
方策⑥メガリージョンの構築			
XI スタートアップ資金調達額	—	37.8億円 (R6)	100億円 (～R9)
XII スタートアップ誘致件数	—	5社 (R6)	50社 (～R9)

(注) ※は単年度評価、その他は累計評価



2

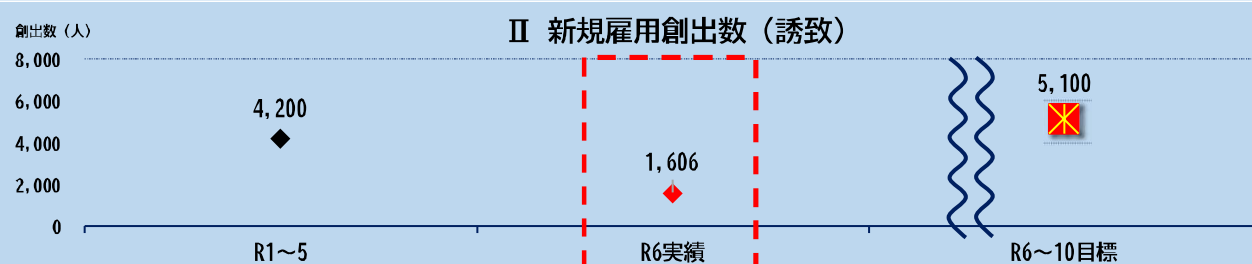
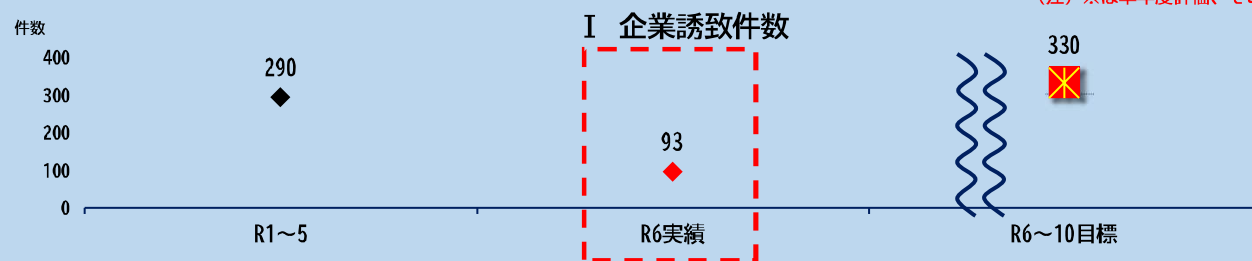
方策
1

K P I の達成状況

Kinki University
Action!

検証指標	基準（戦略策定時）	実績（最新値）	目標（注）
方策①産業基盤のポテンシャル開花			
I 企業誘致件数	290件（R1～5）	93件（R6）	330件（R6～10）
II 新規雇用創出数（誘致）	4,200人（R1～5）	1,606人（R6）	5,100人（R6～10）

（注）※は単年度評価、その他は累計評価



3

令和6年度の取組・実績

- 企業立地促進補助金の拡充
- 首都圏プロモーション強化
- 企業誘致件数93件
- 新規雇用者数1,606人

評価

- 企業誘致件数が過去最高（2年連続で過去最高を更新）
- 新規雇用者創出に寄与
- KPI達成に向け順調に推移

今後の方向性

- 企業の個々のニーズに応じた企業誘致活動の促進
- 新たな産業用地の創出
- 『小倉＝IT企業が集積するまち』という都市イメージを浸透させるため、戦略的なブランディング

課題

- 企業誘致の受け皿となる産業用地の不足
- 若者・女性から選ばれる企業が少ない

Mission

企業誘致加速大作戦

01

新規

産業用地をつくる

地域未来投資促進法を活用した民間開発の募集を開始



02

拡充

投資環境の変化に対応する

企業立地促進補助金の上限額を引上げ（現行10億円⇒見直し後30～50億円）

03

新設

物の流れをつくる

半導体サプライチェーン構築事業補助金の新設



04

アテンションを高める

『北九州市企業誘致フォーラム in 東京 2025』の開催



05

強化

進出企業をサポートする

IT Scrum KitaQ機能強化



九州初

ネグロス電工 『九州初』の製造・物流拠点の建設決定

- 電気設備資材の製造・販売を手掛け、国内トップシェアを誇る「ネグロス電工」が、九州初となる電気設備資材の製造・物流拠点の建設を決定
- 北九州市の充実した物流インフラの活用による、九州全域への電気設備資材の安定供給を実現
 - 投資予定額 約100億円、雇用創出30人



サンワマテリアルソリューションズ 資源循環ニーズに対応

- 三和油化工業とエア・ウォーター・マテリアルによる合併会社
- 輸入に依存する化学材料の国内循環が北九州市で開始
- シリコンアイランド九州全体の資源循環ニーズに対応
 - 投資予定額 約60億円、雇用創出 20人



日本IBM 北九州市で拠点拡大

- リバーウォーク拠点開設、約450席の大規模オフィス
新たにAIを活用したBPO事業を開始
- さらに令和6年7月竣工したBIZIA KOKURA11～13階に入居
 - リバーウォーク拠点と合わせて800席規模へ



地方初

三菱総研DCS 九州初となる「九州支社」を開設

- BIZIA KOKURAに九州全域を網羅する九州支社を開設
- 北九州市を拠点に九州での事業拡大、人材採用を目指す
 - 雇用創出50人



第一弾

BIZIA KOKURA 令和6年7月竣工

- 「グリーンスマートビル」の普及をはじめ、「若者に好まれるIT企業の誘致」など、北九州市が取り組むSDGs未来都市の実現に貢献
- 敷地面積：1,252.75㎡、延床面積：9,857.93㎡
階数：地上13階、高さ：約60m
- 入居企業数18社、入居率95%以上

新規

地域未来投資促進法を活用した民間開発による産業用地の創出

目標：令和10年度までに20haの産業用地を創出

<開発募集条件>

- 規模：5ha以上（データセンターは10ha以上）
- エリア：高速道路IC・主要な港湾施設から3km圏内
（データセンターはこれによらず変電所近傍が対象）

<実績>

- 相談状況：問合せ約80件、具体的な開発計画10件以上
- 進捗状況：具体的な法手続に1件着手

8

就航

北九州空港：国内貨物定期便の就航



- 令和6年4月、ヤマトグループとJALグループによる貨物専用機が北九州空港に就航
- 成田・那覇路線 2往復4便で新規就航（R6.4）
羽田路線の深夜早朝便が加わり 3往復6便に増便（R6.8）
新千歳路線が加わり、4往復8便に増便（R6.10）
- 多頻度運航が実現し、荷主の利便性が大幅に向上
- 貨物取扱量が過去最高を更新（R6年度 36,603トン）

拡大

北九州空港の物流拠点化（運航路線・機能強化）の拡大



大韓航空



UPS



- 九州・中四国で唯一の国際貨物定期便が就航
- 北九州⇄韓国・仁川線 3便/週（R1.11～）
北九州⇄中国・深圳線 5便/週（R5.2～）
- 滑走路3,000m化（令和9年8月末供用予定）
大型貨物機による北欧への長距離運航が可能
- 新たな貨物機用エプロンの拡張整備が決定

9

小倉デジタル城下町大作戦

約200社のIT企業が集積!

小倉駅 小倉城 セントシティ 小倉東 IC

北九州市 金持ちの街 アベノスタ
北九州市長 武内 和久

北九州市 金持ちの街 アベノスタ
日本アイ・ピー・エムデジタルサービス株式会社 取締役 古長 由里子

マルチテナント型物流施設の建設が決定



- 小倉東 IC を起点に九州や西中国をカバーする拠点としても活用可能な市内最大規模の物流施設
- 「物流拠点」としての一層のプレゼンス向上と、更なる物流施設の集積及び成長産業の誘致につながる

半導体サプライヤーの集積促進



- 半導体のサプライヤーの誘致計画を策定
- 製造受託企業や国内の関連企業に対して、トップセールスや誘致活動を実施



ニッスイグループの新工場建設が戸畑で決定

- 今後の国内食品工場の「モデル工場」
- AIなどの最先端技術により最大限自動化した効率化ラインの構築やCO₂実質排出ゼロによる環境負荷低減への取組を推進
- 工場見学の受入れや災害時の物資供給など多方面での地域貢献も検討中



株式会社日本触媒の製造拠点が若松区に建設決定

- EVバッテリーの性能向上に大きく貢献するリチウムイオン電池素材の製造工場
- 蓄電池のサプライチェーン強靱化、EV 普及促進によるカーボンニュートラル推進
- 投資予定額 約375億円、雇用創出50人

12



新規

海外半導体関連ビジネスの誘致

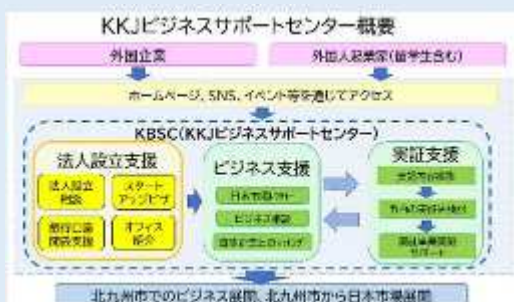
- 半導体関連企業等の誘致促進のため、台湾で企業誘致イベントの開催や大規模展示会への参加を通じ、ターゲットを絞った誘致活動を展開する。

新たな誘致ターゲットの掘り起こし

- データセンターやエネルギー分野等、海外企業誘致における新たな産業分野の開拓に取り組む。

ワンストップによる海外企業の進出支援

- 令和6年にAIMビル内の「COMPASS小倉」に開設したワンストップ対応窓口「KKJビジネスサポートセンター（対面・オンライン、英語対応可）」を運営（継続）
- 法人設立、ビジネスマッチング、実証等の伴走型支援により、海外企業による北九州市での事業開始をフルサポート



13